

山行番 NO. 1748-2
日時 2017.08.02 (水) 晴れ
山域 北海道・暑寒別岳 (1492m)
コース 深川留萌自動車道・秩父別PA—留萌市—増毛町—暑寒山荘発6:16—扇風岩9:25—マシケゲンゲ地10:21—暑寒別岳10:34~11:00—暑寒荘14:18—増毛・暑寒海水浴場キャンプ場 (泊)
所要時間 上り=約4時間、下り=約3時間20分
標高差 上り=暑寒荘約300m~暑寒別岳1492m=約1192m
下り= "
参加者 GT, KH

メクラアブで参った

テン泊地から増毛町に入り、林道を走り暑寒荘着。エンジンを止めるとアブの大群が押し寄せてきた。ちなみにアブは、温かい所が好きだそう。このアブは、大きくはないが、メクラアブと呼ばれるもの。

其中で出発。暑寒荘は立派な建物で無料。水場、トイレがあるが寝具はないとのこと。中身拝見と覗いてみたが、なかなかきれいに整備されていた。ここもやはり熊出没の看板があり。鈴を持たない私は気を引き締めて出発。池を過ぎて歩いて2~3分。物凄いアブの大群に襲われる。「痛い！痛い！」と悲鳴をあげながら撃退スプレーを吹きかけたがびくともしない。靴下の上から、服の上から、ズボンの上からのモーレッツな襲撃にチクチク刺されながら逃げるしかなかった。いやあ参った。参った。



暑寒荘

出だしはこんなだったが、登山道はなかなか整備？されて歩き易い。あぶに刺されないように気をつけていても、少しのチャンスも見逃さずチクリとくる。めくらとはとても思えない早業だ。名前の由来は、やっぱり「めくらめっぽう突進してくる」からという。人畜から吸血する。咲き終わったエンレイソウに真っ赤な実がついていた。普通は青なのに変わっている。此処にもシ

ラネアオイの群生があった。歩きながらのアブとの戦いで一合目、二合目、三合目と周りの変化に気がつきもせず四合目。此処から次第に傾斜を増し、ぬかるんだ滑りやすい粘土質の登りとなる。六合目を越え、ロープ箇所を過ぎると七合目から滝見台。取り敢えず一つのピークの上りきった所で見晴らしはよい。一度下って、ワンピッチで八合目の扇風岩へ。岩が積み重なった台地というか曇っていなければ利尻岳・大雪山まで望めるといふ。しかし先はまだ長い。昨日の疲れがあるのか、アブの襲撃で体力を消耗してしまったのかとにかく歩きが辛い！



アブの大群



シラネアオイの実

此処から少ピークを越えると、長いガレ場の急登だ。富士山の胸突き八丁を登るような感じで、1歩登ると2歩下がる。これでもか、これでもかと登らせる山に、へろへろのギブアップ状態。Cは流石に根性の持ち主だ。「昨日の疲れが残ってきついなあ」と口では言っても、「じゃこの辺で終りにしようか」と私が言うと、「やっぱり頂上を踏まないで山ヤではない」と黙々と登り続け

る。仕方なく其の後にヨロヨロと歩くが、もう終りにしたいなあ・・・と心の中で呟く。ところが上り切って山頂台地に出ると素晴らしい展望が広がる。「うわあ～。すご～い！」

これが北海道の山か。夕張岳といい、今日の山といい、頂上近くの見事な花畑に疲れが吹っ飛んだ。これだから山は止められない。今までの苦しさも何処へやらで目前の花畑に見とれる。其の中に今



扇風岩



夏の縦走路

日の目的、暑寒岳の個有種マシケゲンゲがあった。流石に咲き終わっていたのが残念。
糸魚川にゲンギョという深海魚がいるが、ゲンゲとゲンギョと名前の感じが似ていて、どうも魚っぽいイメージがはたらいっていたが、やっぱり花は花だった。当たり前か。北海道の花を見たいなら6月下旬から7月上旬?にできればいい・・・が実感。



マシケゲンゲの実



頂上

可憐な透き通るようなウメバチソウの群落の中を少し下って登り返すと岩の塊が積み重なった頂上に着く。祠の前で一礼しお昼とする。身体が疲れてきているのか食欲はわかず、簡単なもので終わらせた。

往きと帰りでは景観もまた違う。晴れ間がある曇り日とで、遠望はないが花畑一体は見渡せる。豊富にある花々の名前を確認し、後ろ髪ひかれる思いで山頂台地を後にした。9合目のガレ場の急下降をしている最中に2人の女性と出会う。

頭にはスッポリとネットを被り、暑いのにカッパの上下を着込んでの重装備。何もしていなくても、汗が滴り落ちる今日の暑さだ。「さぞ暑いでしょう」と声をかけると「あぶ対策です。暑くても我慢、我慢」と声を揃えて登っていった。その健気な後ろ姿に「お疲れ様です」と思わず合掌。



タカネトウチソウ



エゾアジサイ

滑りやすい粘土状をズルズル下ると4合目辺りからアブが前後でブンブン唸りだした。笹を2、3本束ね両手に持ち、足元、腕、肩と順番に、尚且つ速やかにパタパタ払いながら歩く。来る時に「うん？」と気になった事があった。登山道の両脇の笹が何本も折られていたが合点がいった。アブを払うのにこの笹を使ったのだろう。これは90%効果があった。それでも何箇所か刺された。恐るべし。メクラアブ。このあと、喰わ

れたあとがポツポツ赤くなり痒みが伴う。ムヒEXを塗っても効き目無し。全身痒くて痒くて、北海道滞在中、自狂う毎日でした。。。。。

下山し海辺の「トロン温泉」で汗を流した。すぐ近くに、暑寒海水浴場キャンプ場があり、ここでテント泊。広大な敷地で水道・トイレ完備で無料。管理人なし。ライダーが多かった。サイクリングの旭川市のK君と交流。障害のある方の施設で働く好青年だった。



増毛・朝日公園の夕陽・ライダーが多い



交流した旭川市のK君



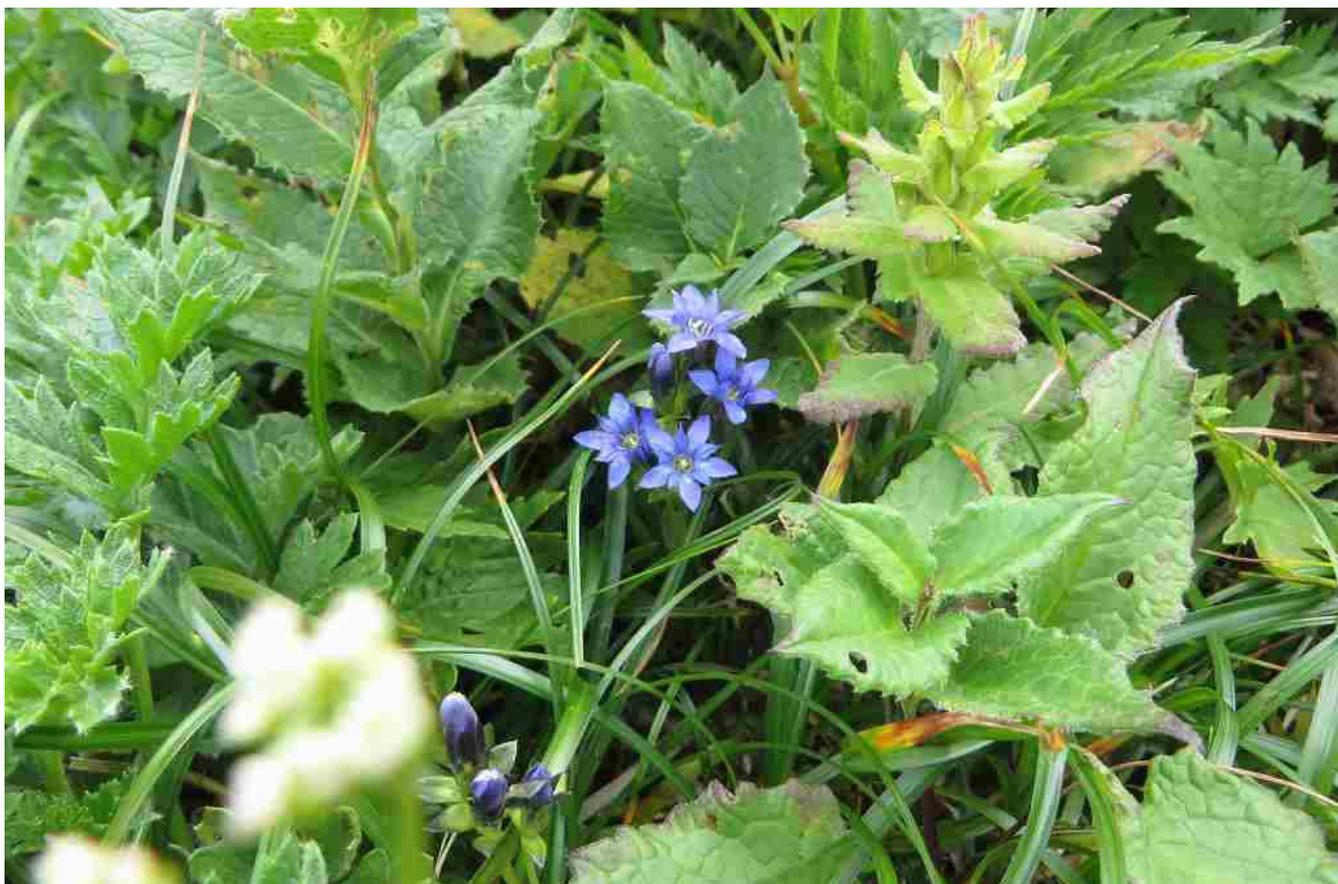
出発のK君



若いライダー



中にはオジサンも



ミヤマリンドウ

